

第2章 景観計画区域における良好な景観の形成に関する方針

「宝塚らしさを感じる」・・・宝塚市の都市景観（景観法第8条第3項）

2.1 「宝塚らしさを感じる」こと

景観は、目に見える環境であるといわれています。また、目に見えるものだけではなく、そこに暮らす、訪れる人々の活動やまちの営みをとおして、またその背後にあるその地域の文化や歴史をとおして感じるものも含めた感覚の価値観を景観としてとらえることができます。

「宝塚らしさを感じる」ことは、目に見えるものにとどまらず、その背景にある地域のなりたちや、そこに住む人々の活動も感じることになります。

「宝塚らしさを感じる」ことを、**自然**（地形）（市全域）、**都市**（南部市街地）、**田園・集落**（北部地域）、**文化**（市全域）の4つの要素に分類します。

自然・・・・・・ 地形を基にした自然景観

六甲山地・長尾山地の山並み、武庫川を中心とした河川、弁天池など
北部地域の山地、谷筋、ため池など

都市・・・・・・ 年月の経過の中で人が造った建築物や土木構造物

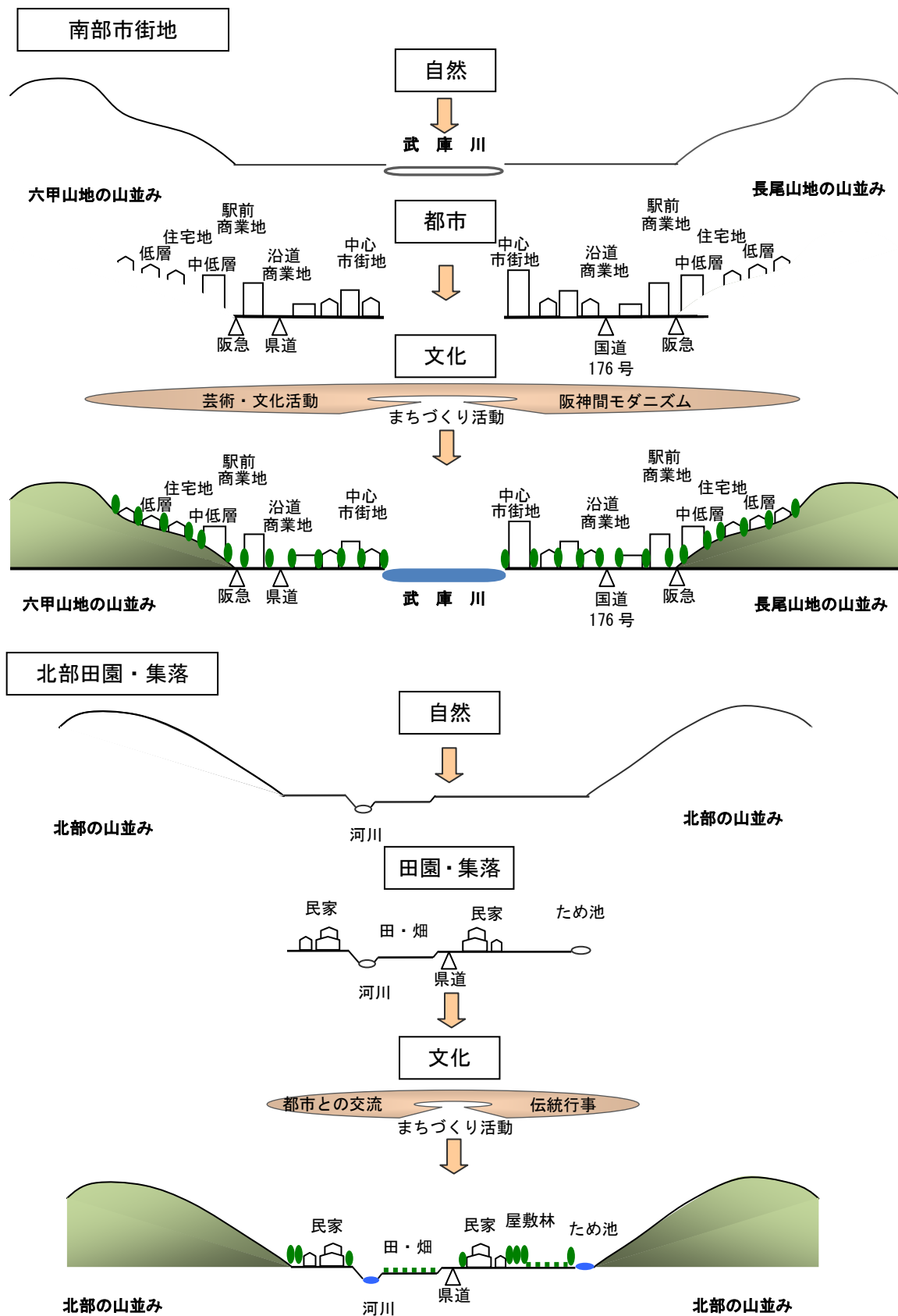
低層や中低層の住宅地、都市部農地、複合利用地、幹線道路、鉄道、駅前や沿道の商業地、寺社等、参道や街道沿いの民家、主要な拠点施設（市庁舎・総合体育館・宝塚大劇場等）など

田園・集落・・・ 年月の経過の中で人が造った建築物や土木構造物

北部地域の田園・集落の農地や民家、里山、主要な拠点（西谷サービスセンター、小、中学校）、レクリエーション施設（宝塚西谷の森公園、ゴルフ場）、武田尾温泉など

文化・・・・・・ 人々の活動によるもの

阪神間モダニズム、宝塚歌劇などの芸術文化、コミュニティごとの伝統行事、都市と農村の交流など

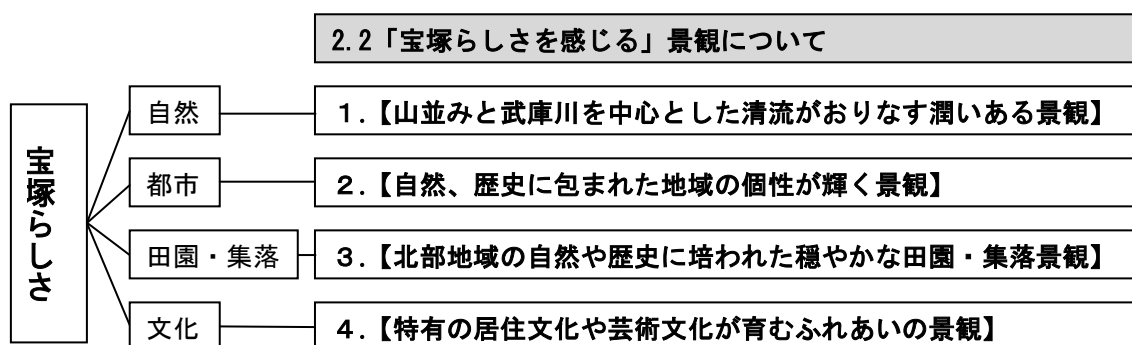


【図 2.1】「宝塚らしさを感じる」こと

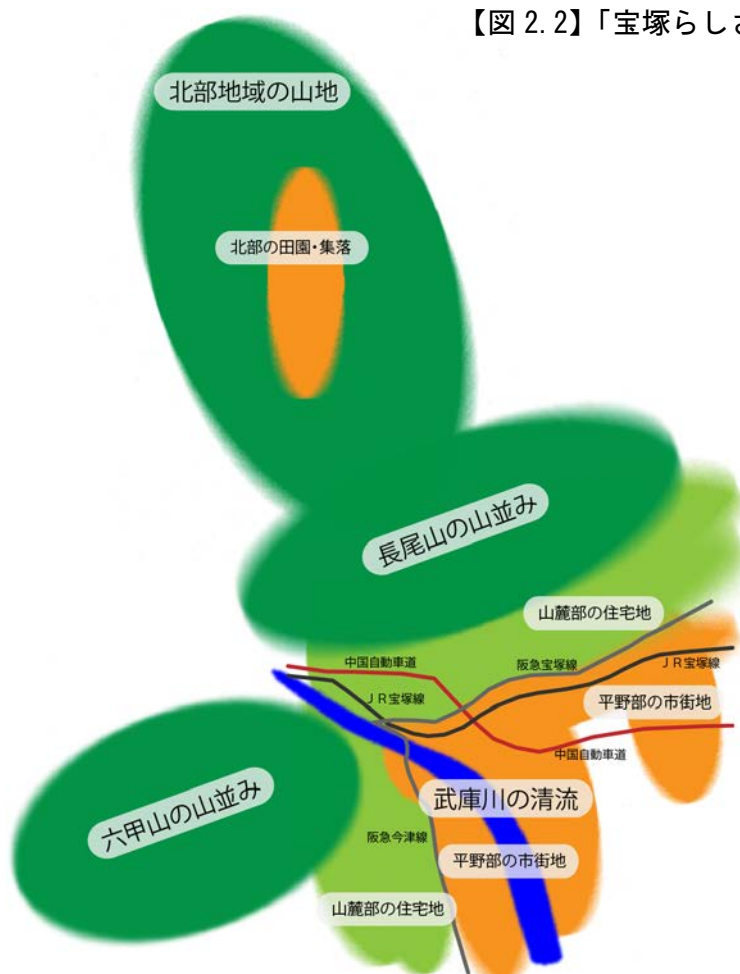
2.2 「宝塚らしさを感じる」景観について

「宝塚らしさを感じる」景観は、先の「宝塚らしさを感じる」4つの要素から、具体的に景観を構成する概念を示し、「宝塚らしさを感じる」景観を市民や事業者と共有します。

「山並みと武庫川を中心とした清流がおりなす潤いある景観」 **自然**（市全域）、「自然、歴史に包まれた地域の個性が輝く景観」 **都市**（南部市街地）、「北部地域の自然や歴史に培われた穏やかな田園・集落景観」 **田園・集落**（北部地域）、「特有の居住文化や芸術文化が育むふれあいの景観」 **文化**（市全域）の4つに分類します。



【図 2.2】「宝塚らしさを感じる」景観



1.【山並みと武庫川を中心とした清流がおりなす潤いある景観】

緑豊かな2つの山並みと武庫川を中心とした清流がおりなす
潤いを感じる景観



広がりのある河川空間と背景にある山並み景観（武庫川と六甲山地）



広がりのある河川空間と背景にある山並み景観（逆瀬川と甲山）

- ① 六甲山地・長尾山地の山並みは、武庫川を挟んで市街地を抱くように形成され、四季折々の風景を演出している。
- ② 六甲山地・長尾山地の山並みの山腹からは、市全域を身近に見渡せ、遠くは大阪都心や和歌山の山脈まで展望できる。市街地一帯からは、背後に山並み景観が広がっている。
- ③ 山並みからの水源が清流となり、それが武庫川水系・猪名川水系の豊かな水流をつくりだしている。武庫川は、上流域の「渓谷の景観」、下流域の「市街地の景観」にゆとりの空間と季節感を与えている。また、四季折々の水面の光により、陰影ができ、奥行きのある風景をつくりだしている。
- ④ 山麓部やため池からの水路は、網の目のように広がり、古くから身近な生活空間としてうるおいを与えている。
- ⑤ 河川は、道路沿いの適度な分節や眺望点となり、ゆとりの空間を与えている。
- ⑥ 北部地域は、山並みの北部に連なる緑豊かな山地に囲まれた盆地があり、集落と農地が広がっている。山々に囲まれた谷筋には、川や多くのため池が見られ、広がりのある農地に張り出す小さな尾根や小丘状地形は、奥行きと変化を与えている。



農地に張り出す緑の景観（大原野）



山々に囲まれた水辺の景観（千菊水源地付近）

2.【自然、歴史に包まれた地域の個性が輝く景観】

自然や年月を経て市民が育んできた、
地域の個性の魅力を感じる景観



山麓部の低層住宅地の景観（逆瀬台から長尾山地の山並み）



伝統的様式の家屋が残る景観（旧小浜宿）

- ① 市街地の山麓住宅地は、明治末期から昭和初期の郊外型戸建住宅地と、昭和 30 年代以降の急激な都市化に伴う住宅地で形成されている。現在は、自然に恵まれた環境を生かして、閑静でうまいのある住環境が形成されている。
- ② 花卉・植木産業の中心である山本・中筋の農住地域は、植木畑が多く見られるとともに、重厚で見事な屋敷内の庭園や美しいガーデニングが施され、開放的で緑豊かな景観を形成している。
- ③ 武庫川には、市内に 4 つの橋があり、それぞれの橋からの眺めは宝塚を象徴する山並みと清流がおりなす景観を有している。また、武庫川の河川敷の多くは、市民交流のオープンスペースとして利用され、河川沿いには、主要な拠点施設(市庁舎・総合体育館・末広中央公園・宝塚大劇場等)が立地している。
- ④ 観光プロムナードを構成している花の道、宝塚大橋や宝来橋からは、宝塚大劇場を基調とした統一感のある建物や、温泉地の風情が残る建物など、独自の景観を創出している。
- ⑤ 清荒神清澄寺と中山寺に見られる門前町や参道には、歴史的・文化的な風情が維持されている。また、街道筋（巡礼道・有馬街道・西宮街道）には、寺内町と呼ばれた旧小浜宿や寺社、伝統的様式の家屋が残る集落が現存している。
- ⑥ 国道 176 号をはじめとする幹線道路は武庫川を中心に路線網が形成され、阪急や J R の鉄道は六甲山地・長尾山地の山並みに沿って路線網が形成されている。鉄道・バスなどの車窓から、駅周辺や地域の個性を体感することができる。



観光プロムナードの景観（花の道）



幹線道路の沿道の景観（国道 176 号宝塚警察署前から小浜方面）

3.【北部地域の自然や歴史に培われた穏やかな田園・集落景観】

豊富な自然の恵みと歴史に培われた
田園・集落の落ち着きを感じる景観



田園と集落の背後にある里山の景観（上佐曽利）



河川と山並みに囲まれた景観（JR 武田尾駅付近）

- ① ため池や河川沿いに広がる農地、集落周辺の竹林や屋敷林など、山々に囲まれた田園景観が形成されている。
- ② 各農村集落の歴史に培われた神社等の境内は、地域のランドマークとして機能している。
- ③ 集落の多くは、重厚な佇まいの伝統的民家であり、自然材料を用いた擁壁や塀、広い敷地内の豊富な植栽や背後の樹林、これらが一体となり田園と里山が保全されている。
- ④ 宝塚西谷の森公園、宝塚自然の家、長谷牡丹園やゴルフ場などがあり、多くの人が訪れるレクリエーションの場にもなっている。
- ⑤ 大原野地区には、北部地域の社会活動の中心となる（西谷サービスセンター、小、中学校、J A、郵便局、派出所）施設が形成されている。
- ⑥ 武田尾温泉は、閑静な溪谷の中の温泉地として風情のある景観を形成している。



山々に囲まれたため池の景観（大原野安場池）



重厚な佇まいの集落と田園の景観（大原野）

4.【特有の居住文化や芸術文化が育む、ふれあいの景観】

阪神間モダニズムを体現する居住文化と宝塚歌劇をはじめとする芸術文化が、地域の活動に影響を与えるふれあいを感じる景観



多様な文化を継承する景観（湯本町）



芸術文化に育まれた景観（宝塚大劇場）

- ① 明治末期から昭和初期にかけて、温泉の発掘を契機に鉄道が開通され、湯のまち宝塚として温泉街が誕生し、その後宝塚歌劇や植物園、遊園地などが整備され、多様な文化が形成されている。一方、鉄道沿いから山麓部にかけて住宅地が開発され、独自のライフスタイルである阪神間モダニズムが形成されたことで良好な住宅都市となっている。
- ② 宝塚歌劇をはじめとする本市の芸術文化は、全国的な知名度とともに良好な都市ブランドを形成している。また、昨今では芸術文化活動の発表の場やまち全体が音楽に溢れた市民主体のイベントが開催されるなど、市民と来訪者の交流が盛んになっている。
- ③ 市民意識に関するアンケート調査ではほとんどの市民が、「本市に住み続けたい」と考えており、その理由の上位には「自然環境が豊かで景観が美しいから」となっている。また、本市は常に「住んでみたい街」の上位にランキングされるなど、良好な「住宅都市」として評価されている。
- ④ 地域の景観保全等を目的としたまちづくり活動は活発であり、既に地区計画 38 地区、景観形成地域 14 地区、地区まちづくりルール 4 地区（平成 24 年 7 月現在）が指定されており、これらの取り組みを今後も継続している。
- ⑤ まちづくり活動は、市民生活のなかで育まれ、自然環境の保全や活用の取り組みの他、芸術文化、福祉、子育て等の新たな活動にも発展し、良質なコミュニティの形成に寄与している。
- ⑥ 北部地域は、各集落の歴史と風情を感じさせる伝統行事が受け継がれている。また、近年は西谷ふれあい夢プラザや宝塚西谷の森公園などの交流拠点施設が整備され、さらに新名神高速道路のサービスエリアやスマートインターチェンジの整備など、都市と農村の交流が盛んになっている。



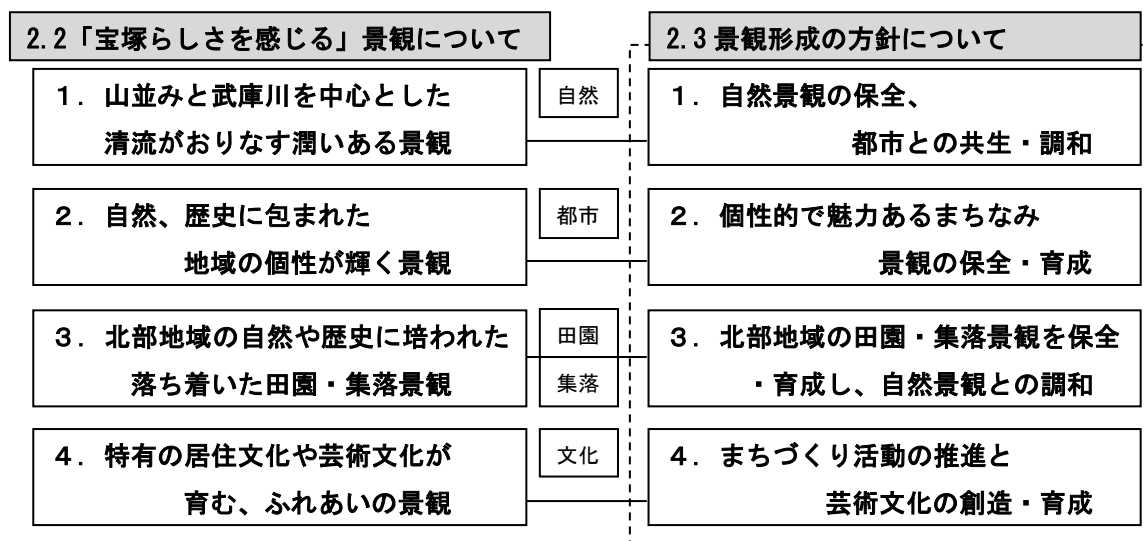
阪神間モダニズムが形成されている住宅地の景観（雲雀丘）



都市と農村の交流の景観（宝塚西谷の森公園）

2.3 景観形成の方針について

景観形成の方針は、先の「宝塚らしさを感じる」景観を市民や事業者と共有し合い、またこれら4つの分類に応じて、景観法第8条第3項による「景観計画区域における良好な景観の形成に関する方針」として、基本的な取り組みの方向性を定めます。



【図 2.3】「宝塚らしさを感じる」景観から景観形成の方針

1.【自然景観の保全、都市との共生・調和】

山並みや武庫川を中心とした清流など自然景観を保全し、その中央に抱かれた都市との共生、調和を図る。

- ① 四季折々多様な緑の連続した六甲山地・長尾山地の山並みを保全し、武庫川水系・猪名川水系の河川やその谷筋など独自の生態系のある自然景観の保全
- ② 六甲山地・長尾山地の山並みや北部地域の山地と調和し、眺望に配慮したまちなみの形成や緑に囲まれた集落と農地の保全
- ③ 橋などの道や河川の結節点、公共の施設周辺など、山並みを眺望する緑豊かな景観ポイント、眺望点の確保
- ④ 河川やため池、水路では、豊かな水と緑の環境に配慮し、潤いのあるまちなみの創出や水と親しむ空間の確保
- ⑤ 武庫川の河川沿いは市民のオープンスペースとし、河川へのアプローチ及び遊歩道の整備や山並みへの眺望の確保
- ⑥ 北部地域の緑豊かな山地、尾根や谷筋などを保全し、潤い豊かな河川、ため池など自然景観の保全

2.【個性的で魅力あるまちなみ景観の保全・育成】

自然特性・歴史的変遷をいかし、市民が育んできた個性的で魅力あるまちなみ景観の保全・育成を図る。

- ① 六甲山地・長尾山地の山並みの緑、武庫川水系、猪名川水系の河川及び農地等と調和するまちなみと潤いのある居住環境の保全と育成
- ② 周辺環境に調和した生活道路の整備や道路周囲の空間の広がり確保や緑の連続性の保全
- ③ 宝塚を象徴する良好なデザインの建築物等をシンボルやランドマークとなる拠点として整備し、眺望による景観や観光プロムナードなどのまちなみ景観の形成
- ④ 施設デザインや広告物の掲示、配置等は、風景やまちなみと調和し、地域独自の統一感のある景観や個性の育成
- ⑤ 門前町、参道及び街道筋などを含む社寺や史跡の歴史的・文化的な環境を保全し、歴史を語る集落や建築物等を尊重した風情あるまちなみの形成
- ⑥ 国道 176 号などの幹線道路及び阪急や J R の鉄道は、周辺地域の特性に配慮した多様な沿道景観の創造及び駅周辺の特色や魅力ある景観の形成

3.【北部地域の田園・集落景観を保全・育成し、自然景観との調和】

北部地域は、山並みに囲まれた田園・集落の景観を保全・育成し、自然景観との調和を図る。

- ① 山地に囲まれた農村環境、地域の歴史に培われた集落景観の継承
- ② ため池や河川沿いに広がる農地、集落周辺の竹林、神社等の社寺林及び屋敷林等の保全
- ③ 背後の樹林と調和した集落の伝統的民家や自然材料を用いた擁壁、塀及び豊富な植栽などの田園景観の保全
- ④ 地域の活性化のため、観光・レクリエーション・市民サービス施設等の設置や自然景観との調和
- ⑤ 大原野周辺の地区は、地域の拠点として周辺地域と調和したまちなみの保全
- ⑥ 武田尾温泉などは、自然景観と地域の特性や地域の風情のある景観を保全

4.【まちづくり活動の推進と芸術文化の創造・育成】

人の活動や事業によるまちづくり活動の推進と芸術文化の交流の創造、育成する。

- ① 独自のライフスタイルである阪神間モダニズムや宝塚歌劇をはじめとする芸術文化活動を活用し、魅力あるまちとしての都市ブランドの維持、増進
- ② 地域の特性を踏まえた個性ある住宅地環境、まちなみの形成の取り組み
- ③ 地域の緑化、美化運動など景観形成事業やまちづくり活動の積極的な推進
- ④ 地域の個性豊かな施設や緑豊かな環境を活かした魅力ある観光・レクリエーション空間の育成
- ⑤ 環境に配慮し過度な照明を抑え、商業施設及びランドマーク等の市街地夜景の魅力の向上
- ⑥ 北部地域は、各集落の歴史を踏まえた行事の継承や都市と農村の交流の推進